

# 放射線

## 【Radiology】

担当責任者 教授（放射線科学） 青木 隆敏

## ねらい

放射線診断と放射線治療の役割を理解し、現代の医療において適切に検査法や治療法を選択できることを目標とする。

## 学修目標

1. X線検査法、CT・MRI、シンチグラフィの基本を説明できる。（Ⅱ-6、Ⅱ-9、Ⅳ-5、Ⅳ-7）
2. 主要な臓器の正常所見および異常所見について説明できる。（Ⅱ-6、Ⅳ-5）
3. InterventionalRadiologyの適応について説明できる。（Ⅱ-6、Ⅱ-7、Ⅳ-5、Ⅳ-7）
4. 主要な腫瘍における放射線治療法とその成績について説明できる。（Ⅱ-6、Ⅳ-5）

## 事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、事前に配布する講義テキストで予習しておくこと。
2. 講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

## 成績評価方法・基準

1. 講義内容に対する筆記試験（マークシート方式）を行う。筆記試験（約5割）、理解度チェックのための小テスト（約3割）、レポート（約2割）の結果を基に、出席状況や受講態度も加味し総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

## ○教科書

特に指定しない（全授業を網羅したオリジナルの教材を配布する）

## ○参考書

西谷 弘・他編 「標準放射線医学 第7版」（2011年 医学書院）

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.5.14	金	Ⅲ	放射線医学の基礎 1(原理、管理・防護、CT)	F	2	7	青木 隆敏
5.18	火	Ⅱ	放射線医学の基礎 2(MRI) 小テスト レポート提出	〃	〃	〃	〃
5.21	金	Ⅲ	IVRの基礎および画像解剖学 1(脳、頭頸部)	D	〃	2,2	井手 智
5.25	火	Ⅱ	脳・脊髄の画像診断 小テスト レポート提出	〃	〃	〃	〃
5.28	金	Ⅲ	画像解剖学 2(胸部、腹部)	〃	6,7	〃	青木 隆敏
6.1	火	Ⅱ	胸部の画像診断 小テスト	〃	6	〃	〃
6.4	金	Ⅲ	消化管の画像診断	〃	7	〃	林田 佳子
6.8	火	Ⅱ	肝胆膵の画像診断 小テスト	〃	〃	〃	轟木 陽
6.11	金	Ⅲ	頭頸部、後腹膜・男性生殖器、大動脈の画像診断	〃	5,8	〃	穴井 健太
6.15	火	Ⅱ	女性生殖器、骨軟部の画像診断 小テスト	〃	4,9	〃	林田 佳子
6.22	〃	〃	核医学検査法 総論	F	2	7	村上 優
6.29	〃	〃	核医学検査法 各論 小テスト レポート提出	〃	〃	〃	〃
7.6	〃	〃	放射線治療の原理と応用	C	3	3	大栗 隆行
7.13	〃	〃	放射線治療 各論 1(頭部、頭頸部、胸部)	F	2	7	〃
7.20	〃	〃	放射線治療 各論 2(腹部・骨盤部、乳腺、その他)	〃	〃	〃	〃